

日本における外国人労働者の生活世界と地域社会の変容に関する
実証的研究

中田 英樹

(明治学院大学国際平和研究所助手)

崔 博憲

(広島国際学院大学現代社会学部准教授)

村川 淳

(京都大学大学院農学研究科博士後期課程)

坂梨 健太

(京都大学大学院農学研究科博士後期課程)

飯田 悠哉

(京都大学大学院農学研究科修士課程)

2012年3月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

グローバル化や少子高齢化によって、現在、日本社会は様々な変化に直面しているが、とりわけ大きな変化のひとつが、日本社会の多様化であり、それは新たな他者の包摂や排除の契機でもある。移民受け入れや外国人参政権の議論の高まりとともに外国人の排斥が激化している近年の状況は、そのことを示している。

本研究は、こうした変化が生起するなかで、(一時的であれ)新たに日本社会の構成員となった人びとの家族関係や労働現場にて形成するネットワークといった親密圏がいかなるものであり、それがどのように公共圏と闘ぎ合っているのかを実証的に明らかにする。

具体的研究に対象としたのは、次の二つである。一つ目は、90年度の入管法改正より一気に増加した、ラテンアメリカから来た日系のブラジル人やペルー人である。二つ目は、同じく90年代より増加した、外国人研修・技能実習生である。主にフィールド・ワークを通じて、彼／彼女たちの生のあり方を探求することで、日本社会の境界域を生きる人びとの生活世界の具体的な位相について考察したい。

キィ・ワード：

外国人労働者／マイノリティ／ネオ・リベラリズム／生き延びること／コミュニティ

2010年度次世代研究「日本における外国人労働者の生活世界と地域社会の変容に関する実証的研究」（研究代表：中田英樹）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2010年度プロジェクト時点

- 中田 英樹（京都大学大学院文学研究科グローバルCOE研究員）
- 崔 博 憲（京都大学大学院文学研究科グローバルCOE研究員）
- 高村 竜平（秋田大学教育文化学部准教授）
- 佐々木 祐（京都大学文学部非常勤講師）
- 村 川 淳（京都大学大学院農学研究科博士後期課程）
- 坂梨 健太（京都大学大学院農学研究科博士後期課程）
- 飯田 悠哉（京都大学大学院農学研究科修士課程）